

千曲市 令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 事業実績及び効果検証結果一覧

実施計画 No.	交付対象事業の名称	所管部署	事業の概要 (①目的 ②内容 ③対象)	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費(円)	交付金充当額(円)	その他(一般財源等)(円)	事業実績	効果検証結果
1	事業継続給付金給付事業	産業振興課	①経済産業省の持続化給付金の給付決定を受けている市内事業者に対し、事業の継続を支え、再起の糧となるよう、事業全般に広く使える資金として給付金を交付する。 ②経済産業省の持続化給付金の給付決定を受けている市内事業者において、ひと月の売上が前年同月比で50%以上減少の法人及び個人事業所に給付する。 ③市内の中小企業事業者・個人事業者	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.5	R3.3	350,203,400	350,203,400	0	1,348件交付(349,153,000円) (差額1,050,400円は委託料)	新型コロナウイルス感染症の影響下において、事業者の事業継続の支えとなり、再起の糧となったといえる。
2	県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業	産業振興課	①長野県の緊急事態措置等にとまない、休業要請等に応じた事業者に対して支援を行う。 ②長野県と市町村が連携して実施する、休業要請に応じた事業所に対する協力金等給付事業への市町村協力金(1事業所あたり県20万円・市町村10万円の計30万円を給付) ③長野県(事業者へは県から給付)	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.5	R2.10	28,600,000	28,600,000	0	県の実績に応じ286件分を給付	長野県の緊急事態措置等にとまない、休業要請等に応じた事業者に対して支援を行い、休業を促し感染拡大防止に努めた。
3	飲食店及び喫茶店業態転換等奨励金交付事業	観光課	①市内に店舗を構える飲食店及び喫茶店事業者(飲食店等)が、従来の業態からの転換や付加価値を上げるために行う事業又は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために行う事業に対し奨励金10万円を交付する。 ②市内飲食店等1件あたり10万円 ③市内飲食店等	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.4	R2.12	29,800,000	29,000,000	800,000	・交付件数:298件 ・交付金額:29,800,000円	テイクアウトなど事業転換への経営支援や、新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、事業の継続化及び感染症拡大防止の一翼を担えた。
4	旅館ホテル事業継続支援給付金給付事業	観光課	①新型コロナウイルス感染症の拡大により著しく観光需要が落ち込んだ市内の旅館ホテルの事業継続を支援するため給付金を交付する。 ②市内の旅館ホテル等を営む事業者で、売上高が令和2年1月から令和2年12月までの間に前年同月比で50%以上減少した月がある事業者に対し給付金を交付する。 ・収容人数125人以上の旅館等…100万円 ・収容人数125人未満の旅館等…50万円 ③市内旅館ホテル等を営む事業者	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.4	R2.6	20,500,000	18,289,000	2,211,000	・給付件数:30件 ・給付金額:20,500,000円 (内訳) 収容人数125人未満…19件、9,500,000円 収容人数125人未満…11件、11,000,000円 ※旅館業法による簡易宿所及びモーテル類については、対象外とする 令和2年6月中に対象旅館等の申請及び交付については、すべて終了	国の緊急事態宣言及び県の休業要請期間中における旅館ホテル事業者の経営安定化や事業の継続化、新型コロナウイルス感染防止対策のための経営支援につなげられた。
5	ちくまっこ応援子育て臨時給付金給付事業	こども未来課	①新型コロナウイルス感染症の影響等を受ける家庭を支援し、千曲市の未来を担う子どもたちを応援するため、児童手当受給世帯に対し、中学生以下(令和2年5月末時点(令和2年3月末時点の中学3年生含む。))の子ども1人につき1万円を給付する。(※支払先は児童を養育している人)。 ②子ども1人あたり1万円 ③千曲市内の中学生以下(令和2年3月末現在の中学3年生を含む)の子どもがいる世帯	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.6	R3.3	77,130,000	76,516,000	614,000	(給付対象世帯数)4,543世帯 (給付対象児童数)7,713人 (給付総額)77,130,000円	新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞等から、収入減少など家計への影響を受けた子育て世帯へ給付金を給付することにより、安定した生活を補助することができた。

千曲市 令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 事業実績及び効果検証結果一覧

実施計画 No.	交付対象事業の名称	所管部署	事業の概要 (①目的 ②内容 ③対象)	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	その他(一般財源等) (円)	事業実績	効果検証結果
6	GIGAスクール情報機器購入事業	教育総務課	①新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業等緊急時においても、全ての子どもたちの学びを保障するため、市立小中学校の児童生徒に貸与するパソコン端末機(1人1台)を整備する。 ②一人一台端末購入費 一人一台端末初期設定業務 ③小中学校	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.8	R3.3	89,350,947	74,774,164	14,576,783	・一人一台端末購入費(1,554台分) ・一人一台端末設定業務(4,532台分)	一人一台端末の導入により、コロナ禍で密にならないよう、体育館等に集合せず集会を行うことができた。やむを得ず学校を欠席する場合や、臨時休校の場面においても自宅で学習に参加が可能となった。
7	公共交通運行維持確保支援金交付事業	生活安全課	①新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けた市民及び本市の公共交通において、コロナ禍における現在及び将来にわたる安定的な運行並びに市民の日常的な移動手段の確保を目的とし、市内バス・タクシー事業者を対象に、予算の範囲内で支援金を交付する。 ② ・地域公共交通の現在及び将来にわたる安定的な運行維持に係る経費 ・「新しい生活様式」に対応した、市民の日常的な移動手段の確保に資すると認められる経費 ・バス1台につき10万円 ・タクシー1台につき2万円 ③一般乗合旅客自動車運送事業者、一般貸切旅客自動車運送事業者、一般乗用旅客自動車運送事業者(福祉輸送事業限定を除く。) ※市内に営業所がある事業者に限る	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.7	R3.6	5,700,000	4,300,000	1,400,000	【第1次】 ・申請のあった7事業者に対し、審査のうえ総額2,900千円を交付した。 ・バス100千円/台×19台=1,900千円 ・タクシー20千円/台×50台=1,000千円 【第2次】 ・申請のあった6事業者に対し、審査のうえ総額2,800千円を交付した。 ・バス100千円/台×18台=1,800千円 ・タクシー20千円/台×50台=1,000千円 ・市の循環バス・デマンド型乗合タクシー事業において、運休することなく決められた運行を維持し、公共交通を必要とする市民の日常的な移動手段を確保した。	支援金の使途として、防護スクリーンやアクリルパネルの設置や空気清浄機やCO2濃度センサーの設置、除菌物品の購入、光触媒除菌の実施、キャッシュレス決済機器の導入、乗務員健康管理、研修、車両点検、整備等を行った。 利用者に安心して利用していただくための方策としてはもちろん、公共交通運行維持確保の観点から、事業者側の感染防止対策としても一定の効果が見られた。 令和5年3月現在、倒産等に陥る事業者は0件であった。
8	避難所(13小中学校)の感染予防対策事業	危機管理防災課	①災害時に避難所(13小中学校)における新型コロナウイルス感染予防対策として、3密を避けるため、マスク、消毒液、パーティション、段ボールベット等の消耗品等を購入する。 ②パーティション、段ボールベット、アルコール消毒液、マスク、非接触式体温計等の消耗品購入 ③小中学校等	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.7	R3.3	50,777,982	50,777,982	0	新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所開設時に必要となる備蓄品及び資機材の購入 (ファミリールーム、不織布マスク、非接触式体温計、フェイスシールド、ゴム手袋、消毒液、間仕切り、衛生用品等)	災害時主要な避難所となる小中学校に、避難所開設時に必要となる資機材を備蓄することで、迅速に新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所を開設する体制を整備することができた。
9	温泉施設指定管理者休業協力金交付事業	生活安全課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市が市営入浴施設について休業要請をし、指定管理者の協力のもと約1か月間休業したことに対する協力金を交付する。 ②1施設あたり30万円 ③市営入浴施設(4施設)	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.4	R3.3	1,200,000	1,200,000	0	申請があった4施設に対して総額1,200千円の交付を行った。	休業要請期間中、財政的な支援を実施することにより、感染拡大防止に寄与し、事業を安定的に継続することができた。

千曲市 令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 事業実績及び効果検証結果一覧

実施計画 No.	交付対象事業の名称	所管部署	事業の概要 (①目的 ②内容 ③対象)	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費(円)	交付金充当額(円)	その他(一般財源等)(円)	事業実績	効果検証結果
10	感染予防対策等普及啓発事業	感染症対策室	①新型コロナウイルス感染症による基本的な感染予防策の啓発、災害時の避難所における感染症予防について啓発する。 ②啓発用新聞折込チラシ(2万枚)、啓発用懸垂幕及び啓発物品の購入 ③住民等	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.7	R3.3	689,191	689,191		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防啓発用懸垂幕:1回 ・啓発用ポケットティッシュ(スーパーにて配布):1,500個 ・新型コロナウイルス対策啓発用アルコールティッシュ(成人式出席者へ配布):440個 ・新型コロナウイルス対策啓発用ポケットティッシュ(検診時配布):500個 ・新型コロナウイルス啓発公用車貼付用マグネットシート、マグネットポスター ・啓発活動時の不織布マスク:500枚 (新聞折込) <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症市長メッセージチラシ:19,500枚 ・家庭内感染予防啓発チラシ18,000枚 	感染予防対策の啓発により、庁舎や医療機関等施設における集団感染の発生を防止できた。
11	テレワーク設備導入補助金交付事業	産業振興課	①新型コロナウイルス感染拡大対策として新たにテレワークを導入する中小企業者等に対し補助金を交付する。 ②テレワーク新規導入支援補助金(1件あたり上限25万円) ③事業者等	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R2.9	R3.3	1,437,500	1,437,500	0	6件交付(1,437,500円)	新型コロナウイルス感染症の拡大により、中小企業者の経営が厳しい中、補助を行うことにより、中小企業者の負担を抑え、ビジネスの新しい形となったテレワーク導入につながった。
12	ワーケーション導入補助金交付事業	産業振興課	①新型コロナウイルス感染拡大後の社会に対応するためワーケーション・リゾート・テレワークの施設整備を行う旅館・ホテル・賃貸マンション等に対し補助金を交付する。 ②ワーケーション導入施設整備支援補助金(1件あたり上限50万円) ③事業者等	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R2.9	R4.3	5,317,000	44,427,000	890,000	15件5,317,000円分を交付。各施設でのWiFi接続やリモートワーク用の備品整備等に係る経費を補助した。	コロナ禍の影響を受ける宿泊事業者が、ワーケーション需要に対応し新たな顧客層を獲得することで、収益性の改善に寄与した。
13	ものづくり生産性向上支援補助金交付事業	産業振興課	①中小企業等が新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している中で、その影響を乗り越えるため「生産性の向上・技術開発・生産プロセス改善等」のための設備投資を支援する。 ② ・小規模事業者生産性向上・販路開拓等支援補助金(1件あたり上限25万円) ・先端設備導入支援補助金(1件あたり上限100万円) ・オンライン取引支援補助金(1件あたり上限100万円) ③事業者等	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.9	R4.3	49,271,281	37,404,281	11,867,000	<ul style="list-style-type: none"> ○小規模事業者生産性向上・販路開拓等支援 15件交付(1,111,281円) ○先端設備 46件交付(39,825,000円) ○オンライン取引 37件(8,335,000円) 	<ul style="list-style-type: none"> ○小規模事業者生産性向上・販路開拓等支援 コロナ禍において、事業者が自社の経営を見直し、持続的な経営を行うための後押しを実施。経営の見直しに係る事業者の負担を軽減できたといえる。 ○先端設備 アフターコロナを見据えた設備投資として、生産性の向上に資する設備の導入が進んだ。 生産性の向上は年間3%以上を条件とした計画であり、複数年計画であることから、相当の効果を見込む。 ○オンライン取引 コロナ禍での新たな販路拡大方法として、オンライン取引環境の整備が進んだ。

千曲市 令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 事業実績及び効果検証結果一覧

実施計画 No.	交付対象事業の名称	所管部署	事業の概要 (①目的 ②内容 ③対象)	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費(円)	交付金充当額(円)	その他(一般財源等)(円)	事業実績	効果検証結果
14	県制度資金保証料補給金交付事業	産業振興課	①コロナ禍で厳しい状況にある事業者の資金繰りを融資にかかる保証料の補助により支援する。 ②新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けたことにより長野県融資制度資金を借りる事業者に対して、その融資実行にかかる保証料補給金を交付する。 ③事業者等	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.4	R3.2	24,337,012	24,337,012	0	48事業者分(融資実行額1,432,520千円分)を交付	コロナ禍で厳しい状況にある事業者の資金繰りを、円滑な融資の実行・保証料の補助により支援し、事業の継続・回復につながった。
16	キャッシュレス決済消費喚起事業	産業振興課	①新型コロナウイルスの感染拡大により、飲食店、小売業、生活サービス業などに大きな消費の落ち込みの影響を受けている事業者に対し、新しい生活様式を踏まえた地域経済の活性化のため、キャッシュレス決済の普及推進及び消費活性化対策を行う。県の地域支え合いプラスワン消費促進事業補助金(補助率50%)を活用し実施する。 ② ・県補助額:6,767万円 ・市内事業所のキャッシュレス決済で、決済額の30%ポイント還元(上限:期間中1万円) ・キャッシュレス事業実施商工団体補助金 ③利用者等	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.9	R3.3	174,122,373	106,453,373	67,669,000	還元率30%(2,000円/回、10,000円/期間)の条件で令和2年11月の1カ月間CPを実施。対象店舗は市内全店舗で、期間中の決裁箇所数は約600カ所だった。	対象店舗におけるキャッシュレス決済の決済金額は対前月比12倍、ユーザー数3倍、利用回数2倍となった。また、千曲市民以外の利用についても対前月比3倍となっており、市外からの需要を取り込むことで大きな経済効果があったと考えられる。
17	がんばる事業者応援クーポン発行事業	産業振興課	①新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている事業者を応援し、地域における消費を促進することを目的に、「がんばる事業者応援クーポン」を発行する。県の地域支え合いプラスワン消費促進事業補助金(補助率50%)を活用し実施する。 ② ・県補助額:約6,233万円 ・市民を対象に市内事業所約400店舗を対象としたクーポン券(2,000円/人)を発行。 ③市民等	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.8	R3.1	124,660,697	62,330,697	62,330,000	クーポン券120,406枚(120,406千円分)を発行。参加店舗数411店舗。116,157枚分(96.4%)が換金された。	総発行額(120,406千円分)の約96%が利用されたことから、市民の購買意欲を促進し、多大な経済効果があったと考えられる。
18	修学旅行解約補償金事業	教育総務課	①例年実施されている修学旅行について、新型コロナウイルスの終息が未だ見えてこないことから中止となった場合に発生する費用を負担する。 ②就学旅行がキャンセル等になった場合の必要費用の負担。 ③小中学校(市から各小中学校へ支出し、各学校から事業者へ支払をする予定)	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.6	R2.11	2,866,900	2,866,900	0	修学旅行をキャンセルした6校分のキャンセル料を負担。	・校外活動の実施可否を感染状況に応じて柔軟に判断することができ、感染拡大を防止した。 ・修学旅行を中止したことにより発生したキャンセル料を市が負担することにより、保護者の経済的な負担を軽減した。
19	要保護及び準要保護児童生徒援助事業	教育総務課	①新型コロナウイルス感染症により、経済的理由によって就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し就学援助費を支給する。 ②家計が急変した世帯への援助費 ③就学援助費対象世帯	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.4	R3.2	232,890	232,890	0	家計急変等により、就学援助の申出があった4世帯に対し、合計232,890円を支給。	家計急変等による保護者の負担を軽減することができた。

千曲市 令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 事業実績及び効果検証結果一覧

実施計画 No.	交付対象事業の名称	所管部署	事業の概要 (①目的 ②内容 ③対象)	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費(円)	交付金充当額(円)	その他(一般財源等)(円)	事業実績	効果検証結果
21	学校保健特別対策事業費補助金	教育総務課	①感染防止のための保健衛生用品等の整備を促進する。また、感染症対策等を徹底しながら児童生徒の学習保障をするための試みや研修機会を選した教職員に対し研修に必要な経費を支援する。 ②保健衛生用品(マスク、消毒液等)購入費用、学習保障に必要となる経費(備品、教材及びバスの増便等)及び教師の研修費用等 ③小中学校等	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4	R4.1	33,863,194	16,930,000	2,606,194	担当課及び市立小中学校13校において下記の理由に応じた必要物品購入等を実施 (ア)感染対策21,112,430円 (イ)教職員研修等支援28,468円 (ウ)学習保障支援12,722,296円	感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びを継続するために、必要な感染対策物品の整備(消毒液、マスク等)や三密を避けた学習保障に必要となる備品や体制等の整備(備品教材の買い増しや校外活動バスの増便等)を実施し、学校での感染対策が図られた。
22	新生児特別定額給付金給付事業	こども未来課	①新型コロナウイルス感染症の影響等を受ける家庭を支援し、千曲市の未来を担う子どもたちを応援するため、国の特別定額給付金の支給対象とならない新生児の保護者に対し、新生児1人につき10万円を給付する。 ②新生児1人あたり10万円 ③令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した新生児を養育する者	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.4	R3.3	28,400,000	28,400,000	0	(給付対象世帯数)322世帯 (給付対象新生児数)324人 (給付総額)32,400,000円	新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞等から、収入減少など家計への影響を受けた出産・子育て世帯へ給付金を給付することにより、安定した生活を補助することができた。
23	消費喚起事業補助金交付事業	産業振興課	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている商店街や小規模事業者が、感染拡大防止対策を徹底しながら小規模イベントを実施する際、広告宣伝費用等の経費を補助することで地域経済の活性化を図る。 ②1事業あたり10万円 ③イベント実施事業者	III-2. 地域経済の活性化	R3.4	R4.3	280,000	280,000	0	千曲市内で実施された3イベントに対し、計280,000円の補助を実施。会場代やイベント実施に必要な備品等の購入経費を補助した。	屋代駅前通り、市役所、戸倉上山田温泉それぞれで開催されたイベントに対し補助金を交付。コロナ禍で影響を受けている事業者がイベントに出店することにより、売上の向上や一定の宣伝効果があったと考えられる。または、各イベントは令和3年度以降も実施されており、継続的なイベント実施に寄与したと考えられる。
24	第2弾がんばる事業者応援クーポン発行事業	産業振興課	①新型コロナウイルス感染症の影響が続き、多大な影響を受けている事業者を応援し、地域における消費を促進することを目的に、「第2弾がんばる事業者応援クーポン」を発行する。 ②市民を対象に市内事業所約400店舗を対象としたクーポン券(2,000円/人)を発行する。 ③市民等	①-III-2. 地域経済の活性化	R3.3	R3.12	125,878,198	90,789,000	35,089,198	クーポン券120,230枚発行。 参加店舗数413店舗。 116,207枚分(96.4%)が換金された。	1回目のがんばる事業者応援クーポン事業と同様に、総発行額(120,230千円分)の約96%が利用されたことから、市民の購買意欲を促進し、多大な経済効果があったと考えられる。

※No.15、20は欠番